

研究課題番号	2-2009
研究課題名	積雪寒冷地における気候変動の影響評価と適応策に関する研究
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	(地独)北海道立総合研究機構
研究代表者名	野口 泉

1. 委員の指摘及び提言概要

北海道の地域特性に根ざした研究構成となっており、地域・自治体への貢献が期待できる。雪の負の効果について一般的な適応策が挙げられているが、北海道は大きなプラスの効果もあることが予想され、そのことへの対策についても言及すべきではないか。現時点では、サブテーマ内の個々の検討課題については順調に研究が進んでいるように思われるが、適応策検討の前提となる「気候の局地的な変動条件の設定とその影響評価の関係」が不明確で、適応策の総合的評価にまで議論が及んでいないように見える。地域別に将来の多雪化・小雪化を示したうえで、寒冷地特有の適応対策が得られることを期待する。市町村がデータベースを利用してメリットを最大化できるような施策を見出せるように、有効な利用インターフェースを開発してもらいたい。

2. 採点結果

評価ランク：A